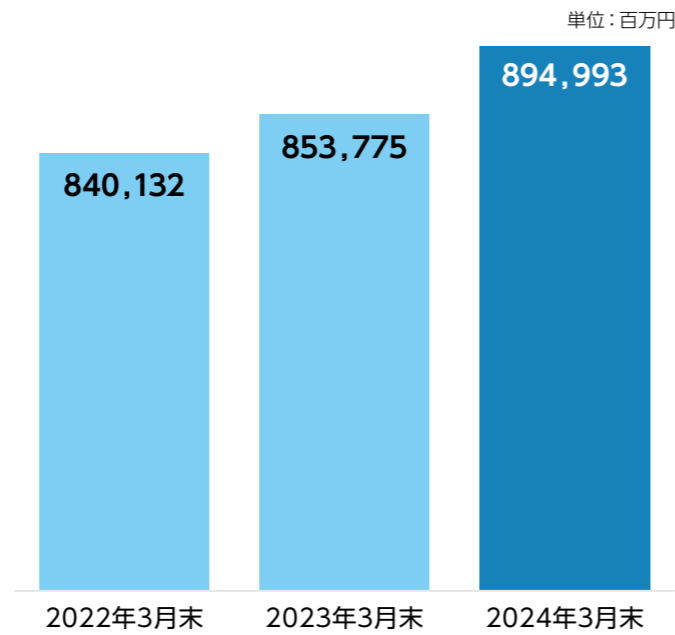




## 預金積金残高

8,949億円

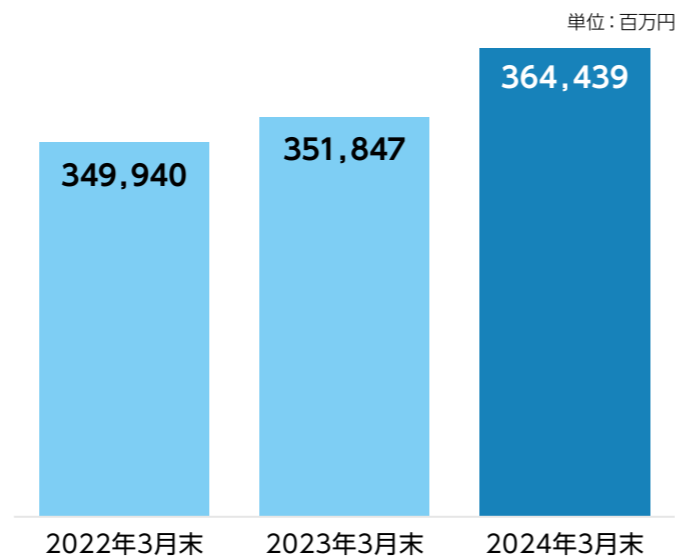
年金資金の歩留まり等により個人預金が増加したことや公金当番受託により公金預金が増加したことから、前期比**412億円増加**となりました。



## 貸出金残高

3,644億円

コロナ関連融資の返済が進んだ一方で、コロナ禍後の経済活動の改善に伴う資金需要が増加したことや住宅ローンを中心に個人への貸出が増加した結果、前期比**125億円増加**となりました。

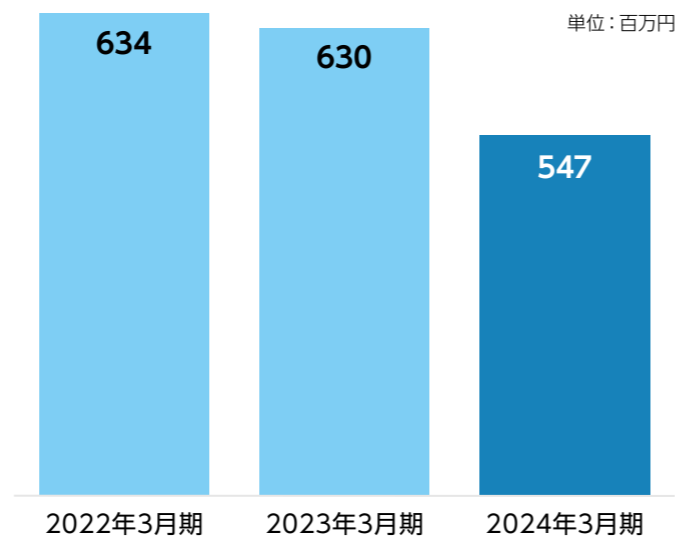


## 当期純利益

5億47百万円

経常収益は前期比で増加したものの、長期的な目線で当金庫の財務基盤の強化を図ることを目的に、評価損となっていた債券を一部売却し、比較的利回りが高い預け金への入替えを実施した結果、国債等債券売却損を計上し、経常費用が前期比で増加しました。

その結果、最終的な税引後当期純利益は、前期比**83百万円減少**となりました。

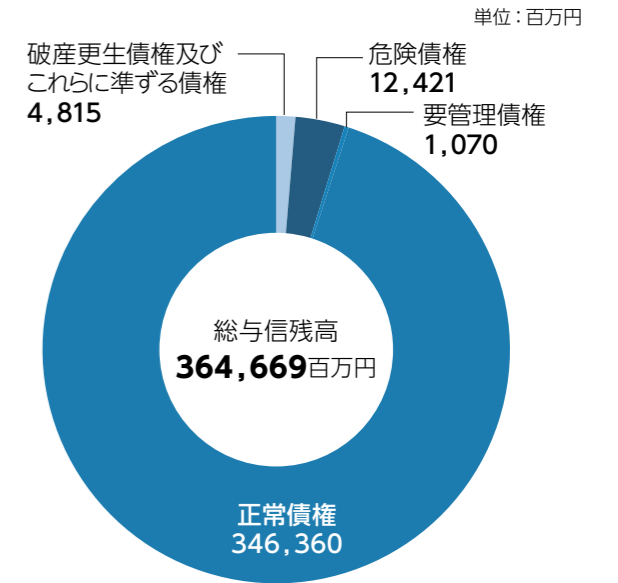


## 不良債権比率

5.02%

不良債権の新規発生防止に努めた結果、前期比**0.29ポイント低下**となりました。

なお、担保・保証などでカバーされない実質不良債権については特別積立金により、備えに万全を期しています。

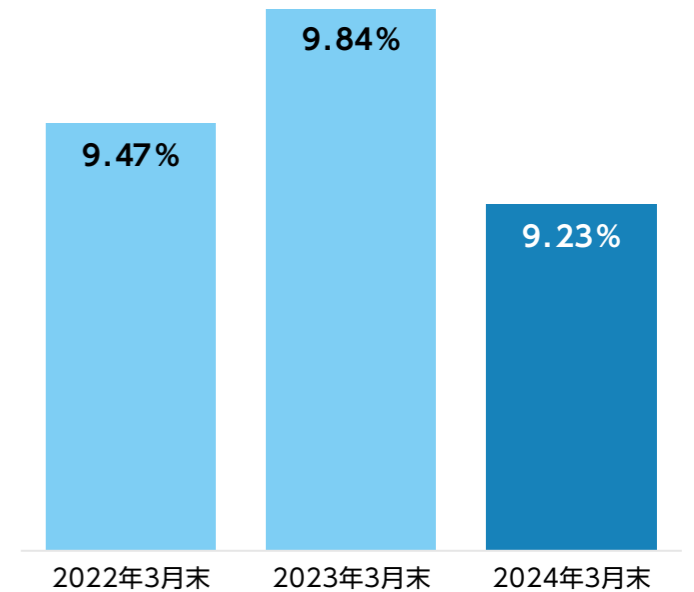


## 自己資本比率

9.23%

当期純利益の積み上げにより分子となる自己資本の額は増加しましたが、貸出金が増加したことなどにより分母となるリスクアセットが増加したことから、前期比**0.61ポイント低下**となりました。

なお、引き続き国内基準4%を上回る水準となり、財務の健全性が保たれています。



### 主要な経営指標の推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	9,882	9,033	9,783	8,610	10,673
実質業務純益	2,031	965	990	1,292	△1,056
経常利益	618	755	717	861	646
当期純利益	419	546	634	630	547
総資産額	779,359	917,244	928,157	907,025	954,444
純資産額	30,308	33,987	31,089	24,827	24,929
預金積金残高	746,621	834,493	840,132	853,775	894,993
貸出金残高	325,804	349,235	349,940	351,847	364,439
有価証券残高	211,842	235,585	244,622	227,839	194,022
出資総額	3,209	3,181	3,151	3,078	3,019
出資総口数(口)	64,185,912	63,633,063	63,039,338	61,561,513	60,385,088
会員数(人)	51,365	51,040	50,627	47,540	46,922
出資に対する配当金	95	63	62	61	60
単体自己資本比率	9.49%	9.36%	9.47%	9.84%	9.23%
役員数(人)	16	17	15	14	15
うち常勤役員数(人)	10	11	9	8	9
職員数(人)	568	565	545	540	525